

令和7年度 前期終了

本日で、令和7年度の前期が終了しました。

1時間目に行った終業式の中で、校長からの話として以下のような事を話しました。

日本は昔から「節目」というものを大切にしている国です。

節目とは、1つ1つの区切りのことですので、そういう意味では、今日は追浜中学校にとって節目の日となります。

節目に関してよく例えられるのが、竹藪などにある「竹」の話です。

「竹」は節を作ることによって、あんなに細くても長く丈夫に育ちます。

追浜中の生徒の皆さんにも「高く」「強く」「美しく」育って欲しいと願っていますので、1つ1つの節目を大切にしてください。

夏休みとは異なり、後期が始まるまでに三連休しかありませんが、心を落ち着けて、後期に向けて気持ちを切り替えたり、目標を新たに設定したりして次に向かう準備を怠らないようにしてください。

また、後期は、スタートしてすぐに文化発表会があります。

もしかしたら、合唱が苦手な人がいるかもしれませんし、みんなと何かをすること自体に苦手意識のある人もいるかもしれません。しかし、みんなでやるからこそ得られるものもあるはずです。

勝つとか負けるとか、うまくいくとかいかないではなく、クラスみんなで取り組むからこそ得られるものがあることを感じながら、自分自身ができる最大限の力で取り組んで欲しいと思います。

何よりも学校教育目標である「美しく生きる」ために

何事も前向きに取り組む

誠実に人や事に接する

恥を知り改善に努める

これを全員が意識して取り組んでくれることを願っています。